

2012年度第1回見学会報告

中村 友行

NAKAMURA Tomoyuki

本年度の第1回見学会が2012年7月13日(金)に神奈川県川崎市のかわさきエコ暮らし未来館(以下、未来館とする)及び同県横浜市の東京ガス(株)扇島工場に建設中であるTL22LNG地下タンク(以下、地下タンクとする)において、参加者30名で開催された。特に地下タンクについては、完成後はLNGが充填され内部の見学はできなくなるため、参加者の関心は高かったと思われる。

一行は12時に川崎駅で集合し、貸切バスで見学場所へ向けて移動した。最初の見学場所である未来館では、床一面に貼られた川崎市の航空写真(縮尺1/3,300)によって近隣の環境関連施設の配置状況等を確認したり、再生可能エネルギーなど環境学習に関する展示を見学することができた。中でも太陽光発電パネルや発電用風車のロータ部品が参加者の目を引いていた。

未来館を後にした一行は貸切バスに30分ほど乗車し、東京ガス(株)扇島工場に移動した。会議室での概況説明の後、展示ブースで液化天然ガス(LNG)が持つ性質について、目の前で行われる実験を見ながらの説明を受けた。その後、建設工事中の地下タンクに移動した。地下タンク内部への見学にあたっては、作業者のために組まれた工事用階段で屋根上に設置された足場に登り、そこから仮設された小型の作業用エレベータに6分ほど乗って地下タンク底部まで降りる必要があった。そのため、安全確保に貸し出されたヘルメット、安全帯を各自が装着しての行動となった。地下タンクの形状は円形筒型であり、内径は $\phi 72\text{m}$ 、液深は61.7mであった。容量は25万KLであり、現状で世界最大容量のLNGタンクとのことであった。内部の工事の様子は、内壁のコンクリート打ちは完了し、マイナス162℃のLNGを保冷するための保冷・メンブレン工事にかかる状況であった。2013年に予定される完成時点では環境への配慮による覆土緑化が施され外観は円墳状となり、隣接する既設のタンクとともに首都圏にガスを供給する用途に使用されるとのことであった。見学の後、会議室に移動し質疑応答となった。予定の時間を大幅に超える活発な質疑応答がなされ、参加者も見学による知見を更に深めることができたよう

であった。質疑応答後、貸切バスで川崎駅にもどり解散となり、参加者に怪我もなく無事に全行程を終えることができた。

最後に建設中の地下タンクの見学という貴重な機会をいただいた東京ガス(株)、清水建設(株)の関係者の皆様、見学会に参加された皆様に心よりお礼申し上げます。

(集会行事委員会委員)



写真1 地下タンク(屋根上の足場からの外観)



写真2 会議室での質疑応答状況